

小国高校

vol 136

2011.8

ジャーナル

第10回 森の聞き書き甲子園

この度、第10回 森の“聞き書き甲子園”に、本校1年 齋藤香穂が全国で100名の参加枠に採用されました。本校からは昨年の齋藤麻未に引き続き、2年連続の参加となります。

今後の日程としては、8月に行われる東京での事前宿泊研修に参加し、9月～12月にかけて「聞き取り取材」・「レポート作成」の後、来年3月のフォーラムにて成果を発表することになります。

「聞き書き」とは

話し手の言葉を録音し、一字一句すべてを書き起こして、文章にまとめる手法です。仕上がった文章からは、話し手の語り口や人柄が浮かび上がります。この「聞き書き」を通して、参加高校生は名人の持つ知恵や技、その生きざまやものの考え方を学び、受けとめることとなります。



齋藤香穂(1年2組)

「森の“聞き書き甲子園”」とは

「聞き書き甲子園」は農林水産省、文部科学省、社団法人国土緑化推進機構、社団法人全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会、NPO法人共存の森ネットワークの6者からなる実行委員会が主催するプロジェクトです。毎年、日本全国の高校生100名が参加します。高校生達は、森と関わるさまざまな職種の「森の名手・名人」を訪ね、一対一で「聞き書き」を行います。

昨年8月に行われた3日間の宿泊研修の内容を一部紹介します。

1日目

講師の阿川佐和子さんや塩野米松さんが「聞き書き」やインタビューのコツを指導しました。

2日目

グループごとの「聞き書き実習」。参加者は「聞き手」となり、協賛企業の担当者の方などが「話し手」となって、実際のインタビューを体験し、「聞き書き」レポートを仕上げました。



第10回 聞き書き甲子園



【聞き書き甲子園】とは、日本全国の高校生が森に関わる名人を訪ね、聞き書きを行い、その成果を発表する大会です。今年で第10回を迎えます。主催は農林水産省、文部科学省、国土緑化推進機構、全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会、NPO法人共存の森ネットワーク。協賛企業は、森に関わるさまざまな企業です。詳しくは、聞き書き甲子園の公式ホームページをご覧ください。

主催 第10回 聞き書き甲子園実行委員会
協賛企業 協賛企業は、森に関わるさまざまな企業です。詳しくは、聞き書き甲子園の公式ホームページをご覧ください。

3日目

佐川急便株式会社の社有林「高尾100年の森」にて実際に森を歩きながら、名人や卒業生から森について学びました。また、午後からは写真撮影講習や卒業生たちによる森づくりの活動紹介、体育館を使つてのレクリエーションなど、様々な交流が行われました。

聞き書き甲子園の公式ホームページでは、より詳しい内容が掲載されています。 www.foxfire-japan.com